

周術期管理チーム

周術期医療の安全性と質の向上、術後の早期回復・早期離床を目指した周術期管理プログラム enhanced recovery after surgery（以下 ERAS）導入のために周術期管理チームが発足し、整形外科で ERAS が導入されています。チームは診療部（整形外科・麻酔科・糖尿病内分泌代謝内科・老年内科・循環器内科・口腔外科・呼吸器内科）、看護部（外来・病棟・手術室）、薬剤部、栄養部、医療技術部、医療安全管理室、事務課（医事課・医療情報）と多職種で結成しています。ERAS の導入により、併存疾患を持つ待機手術患者に対して、専門医による術前評価と術後の回復に影響を及ぼす全身状態の管理が可能となりました。現在の ERAS の対象は整形外科のみであり、今後、対象の拡大が課題となります。

2020 年度からは、手術室看護師による術前外来を開始しています。術前外来の目的は、「患者の術後回復促進のために、手術が決定したときから、安全・安楽に手術を受けるための身体的・精神的準備を整えることができる」になります。術前外来では、手術に向けた体調管理、術後の様子、術後合併症予防等、患者さまに入院前から術後早期回復を見据えた患者教育を行っております。術前外来を担当できるメンバーの増員を図り、術後の早期回復・早期離床を目指した周術期看護に努めたいと考えております。